

6

クックパッドデータにおけるユーザ希望と栄養素を考慮したレシピ選定手法の開発

菊地真邑, 阿部秀尚 (文教大学 情報学部)
笠岡誠一 (文教大学 健康栄養学部)

背景

スマートフォンやタブレットの普及に伴い、料理を支援するアプリケーションやウェブサイト、その中で公開されているレシピ数も増加の傾向にある。膨大な量のレシピの中から自身の要望に沿った料理を見つけるのはかなりの手間を要する。

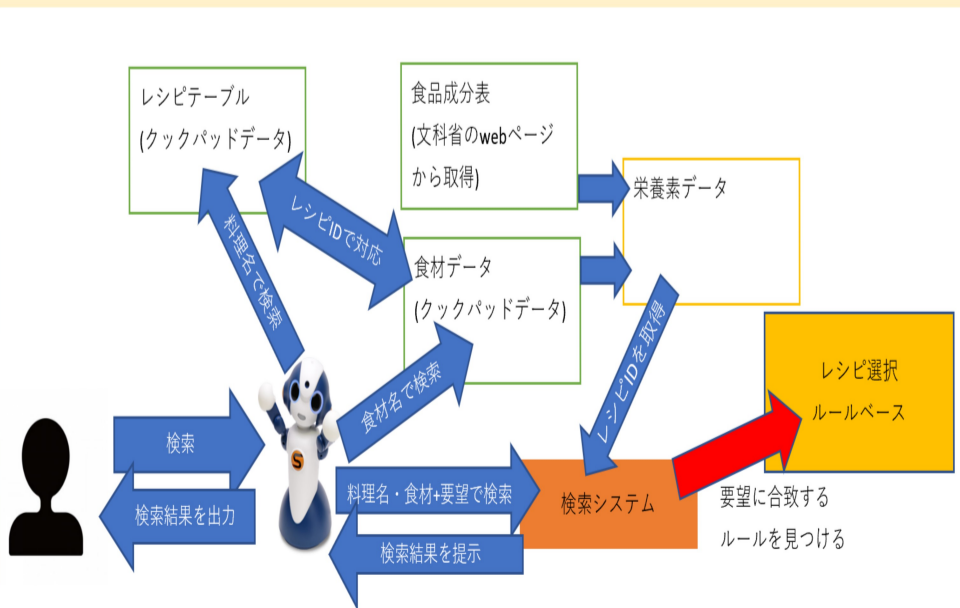
目的

食材名・料理名 + 解決したい健康上の問題からのレシピ検索システムの開発

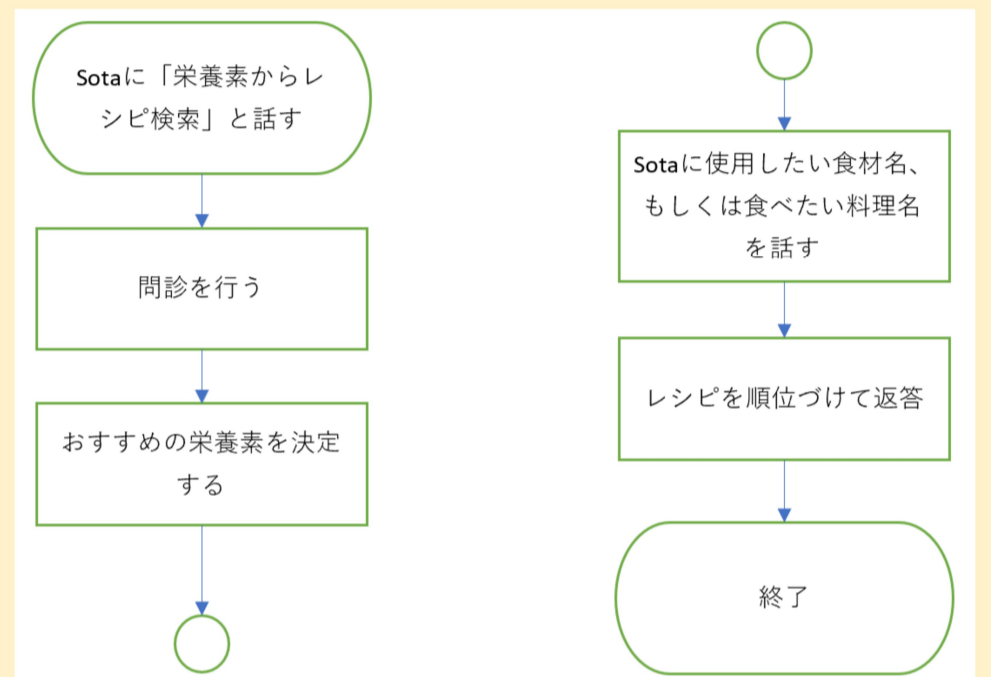
課題

- ・レシピの栄養素や栄養素学的な分類の点数の計算処理
- ・レシピ選択ルールの作成

システム概要



レシピの選定法



① 足りていない栄養素が何であるのかを見つけるために、栄養指導のように問診を行う (参考資料：栄養機能食品とは - 消費者庁)

栄養機能表示	栄養成分
味覚を正常に保つ	亜鉛
骨や歯を形成	カルシウム
赤血球を形成	鉄
夜間の視力維持	ビタミンA
タンパク質からのエネルギー生成	ビタミンB6
抗酸化作用	ビタミンE
カルシウムの吸収促進	ビタミンD

⇒ 栄養素を決定

- ② ユーザから料理名、食品名を入力してもらう
- ③ レシピを問診で決定された栄養素が多い順に順位つけて返答する

今後の課題

- ・問診内容を決める
- ・機能の実装
- ・システムの評価 (実際に推薦されたレシピを調理、スムーズさを比較評価する予定)